

アフターケア

間違ったメンテナンスや保管方法はテントの寿命を縮めます。使用後や保管時は以下の点を参考にしてください。

お手入れ方法・保管方法

- 使用後は、泥汚れなどをあらかじめ水洗いし、陰干して乾燥後に収納してください。汚れたまま、あるいは濡れたまま長時間放置すると色移りやカビの発生する可能性があります。また生地も劣化しやすくなります。
- 長期の使用により、フライシートやグラウンドシートなどの撥水性（水を弾く力）が低下した場合は別売のS.R.スプレー等の撥水スプレーをご使用ください。
- ドライクリーニングや洗濯機による洗濯はできません。
- ジッパーの動きが固くなりましたら、スモースライダ™やローソクの口を塗ると回復します。
- ポールやベグは汚れを濡れタオルで拭き取った後、機械油を薄く塗っておきます。

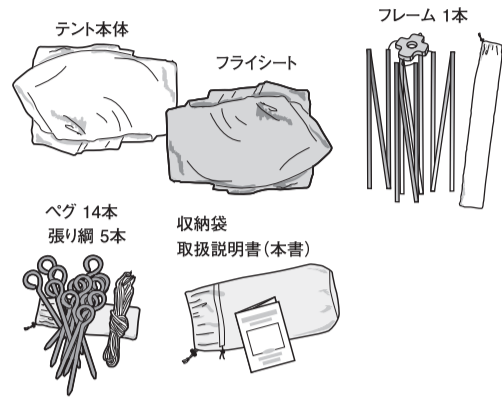
仕様

実際にテントをご使用になる前に部品の欠品が無いことをご確認ください。

構成部品および内容明細

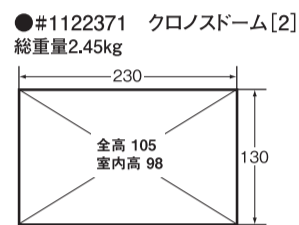
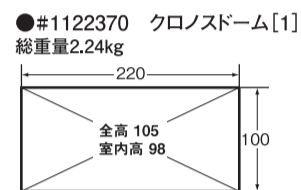
[1型・2型]

- キャンピー-70デニール・ナイロン・リップストップ (通気撥水加工、難燃加工)
- グラウンドシート-70デニール・ナイロン・タフタ (耐水圧2,000mmウレタン・コーティング、難燃加工)
- フライシート-75デニール・ポリエステル・タフタ (耐水圧1,500mmウレタン・コーティング、難燃加工)
- フレーム-本体ポールアルミ合金7001 クロスジョイント、ショックコードつき。



重量および寸法

図中の単位はcmです。



モンベルでは品質管理に万全を期しておりますが、万一不良が生じた場合、お買い求めの販売店を通してご返送ください。無償修理、もしくは交換させていただきます。ただし間違ったご使用や、製品不良以外の原因による故障につきましては有償修理となります。

株式会社 **モンベル** 本社 〒550-0013 大阪市西区新町1-33-20
商品についてのお問い合わせはカスタマー・サービスまで
Tel. 06-6531-3544 フリーコール: ☎ 0088-22-0031
モンベルホームページ <http://www.montbell.com>

04-936-0610

Chronos Dome 1, 2



クロノスドーム [1][2]

独自の構造により、高い居住性と容易な設営を両立した
軽量3シーズンドーム型テント

Chronos Dome

クロノスドーム [1][2]

この度は「クロノスドーム」をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。このテントは軽量で、設営が容易な3シーズン対応ドーム型テントです。パーティカル・クロス・システム(特許申請中)を採用することで広々とした居住空間と設営の容易さを両立しました。テント本体の入り口と背面上部には開閉可能なメッシュ地を使用し、抜群の通気性を誇ります。サイクリストやバックパッカーなど自然を愛するすべての方々にお使いいただけます。

ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき、部品等の確認をしてください。なお、ご不明な点などございましたら、販売店もしくは弊社カスタマー・サービスまでお問い合わせください。この説明書は大切に保管してください。

テント設営手順

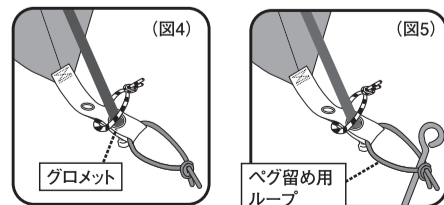
新しいテントに慣れるため、実際にフィールドへ出かける前に、必ず試し張りを行ってください。

1・設営場所の選択

テントの設営地に指定されている場所でも、大雪、台風などの強風や豪雨などの厳しい自然条件下では、十分に注意し設営してください。また大木の側や広い草原では落雷にも注意してください。なお、設営前に入り口は風下側を選びます。冬場は北半球においては北西風が吹くことを考慮してください。

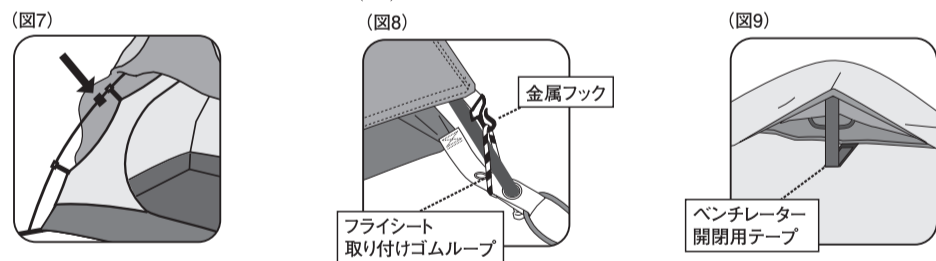
2・テント本体の組み立て

- (1) プラスチックフックのついている面を上にしてテント本体を広げます。強風時には風でテントが飛ばされないようベグで仮留めしてください(図1)。
- (2) フレームの中に通っているショックコード通りに接続し組み立てます。フレームとクロスジョイントは奥で止まるまでしっかりと取り付けください(図2)。この時フレームは最も長い状態となりますので、周囲に障害物や人がいないかを注意してください。
- (3) 天頂部中央のセンターフック2カ所(図1・点線内)を同一線上のフレームに固定します(図3)。
※組み立てたフレームはすべて同じ長さなので、センターフックはどちらの同一線上のフレームにも固定できます。
- (4) 四カ所のフレーム先端を底部ナイロンテープのクロメット(楕目)に差し込みます(図4)。
- (5) 残りのフックもフレームに固定します。
- (6) テントの各コーナーに設けられたループをベグ留めします(図5)。
※付属のベグが使用できない砂地や雪面では別売りのメッシュアンカーなどを用いて固定してください。
※防水性向上のために別売りのグラウンドシートもご利用いただけます。
※入り口を全開にする場合には入り口左手のポケットに収納できます(図6)。



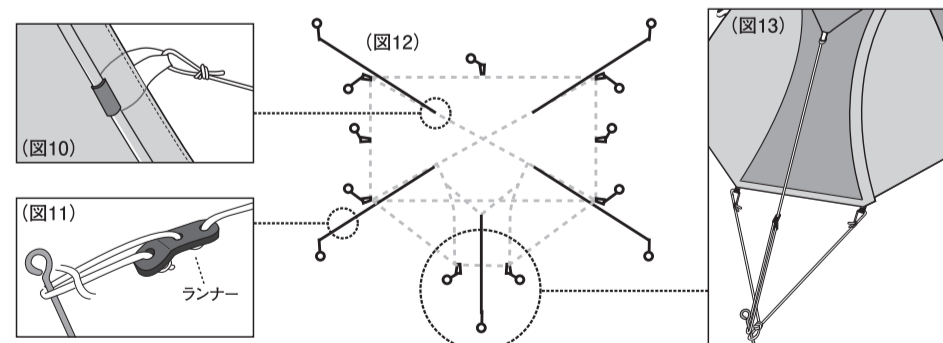
3・フライシートのセット

- (1) テント本体とフライシートの出入口の位置を合わせ、フライシートをかぶせます。この時、フライシートの張り網用ループ4カ所の裏側にあるベルクロテープをフレームの(図7)の位置に固定します。
- (2) フライシート裾の金属フックをテント本体底部ナイロンテープのフライシート取り付けゴムループに掛けます(図8)。
- (3) フライシート背面のベンチレーターはフライシートに付いているテープを操作することで開閉できます(図9)。また本体上部のジッパーを開閉することでテント内からも操作できます。



4・テントの固定

- (1) 張り網は風が吹くことを想定して必ず取り付けください。張り網用ループ4カ所(図10)と前室中央部のベンチレーターのループから張り網をとります。付属の張り網にはランナー(自在留め)図11がついており、ランナーを通してループをベグまたは別売りのメッシュアンカーなどにかけて長さを調節します。フライシート裾部のループについてもベグで固定します(図12)。なお、このテントにハンマーは付属していません。
- ※前室の3カ所のベグは(図13)のように別売りの張り網(＃1122307)を使用し、1カ所でまとめることができます。



安全上のご注意

テントをご使用になる前に必ずお読みください。

テント内やテント近くでは、絶対に火気を使用しないでください。

- テントとして使用の際には必ずベグで固定してください。砂地や雪上では状況に応じたベグ等が別途必要です。
- キャンプ場やキャンプ許可地以外では使用しないでください。
- テント設営地はできるだけ平坦地を選び、危険のない場所を選んでください。
- ナイロンは太陽光線による紫外線劣化の影響がありますので、数ヶ月張ったまま放置すると著しく寿命が縮まります。また、硫黄ガスが発生する温泉地等でも寿命を縮めますのでご注意ください。
- ベンチレーターや出入口などの換気パネルを常に開け、換気には充分ご注意ください。
- 付属のベグには鋭利な部分がありますので、取扱いにはご注意ください。
- 台風や、落雷の時には、キャンプ場の管理担当者の指事に従い、安全な場所に避難してください。